

# 高度IT利活用社会における今後の学校教育の在り方に関する有識者会議 提言について（概要）

## 1 背景

- 近い将来に想定される高度IT利活用社会においては、全ての人がIoTやAIを活用できる能力が必要であり、将来を担う子供たちには、基礎的なスキルの醸成とともに、高度IT人材の育成も必要
- 次期学習指導要領では、平成32年度以降、小学校からプログラミング教育を導入

## 2 提言

### < I > 全ての子供たちに求められる情報活用能力の育成について

情報手段の特性を理解し適切に活用する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報手段を適切に活用するための資質・能力を横断的・体系的に育成</li> <li>○ 情報を主体的に捉えながら、他者と協働し、新たな価値の創造に挑む力の育成</li> </ul>
情報モラルの一層の涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 望ましい情報社会の創造に積極的に参画する態度の育成</li> </ul>
プログラミング教育の実践を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子供たちの発達段階や各教科等の特質に応じた効果的な実践の推進</li> <li>○ 全ての学校の取組の推進に向けた実践事例等の積極的な提供</li> </ul>
社会の変化に即した学校教育の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会が求める人材の育成に視点を当てた教育の改善を推進</li> <li>○ 教員の主体的な取組を促すための管理職の適切なマネジメント</li> </ul>
企業等のもつ教育資源の活用を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業等のもつ人的・物的資源の効果的な活用の推進</li> <li>○ 教育委員会や学校の意識の改善</li> <li>○ 「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」との連携促進</li> </ul>

### < II > 高度IT人材の育成について

世界が必要とする人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的に問題解決を図る力や新たな価値を創造する力の育成</li> <li>○ 豊かな発想力や想像力の育成</li> </ul>
産業界が必要とする人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グローバル化に対応するためのコミュニケーション力の育成</li> <li>○ 主体的・協働的に物事に取り組むことのできる力の育成</li> </ul>
高校と大学との効果的な接続を通じた人材育成（高校からの検討）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学と連携した教育課程の編成・実施</li> <li>○ 大学の研究室と連携したジョブシャドウイングや協働研究の実施</li> <li>○ 高校の単位を連携する大学で認定</li> <li>○ 高大の連続性を視野に入れた新しい学校の設置</li> </ul>
高校と大学との効果的な接続を通じた人材育成（大学からの検討）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高校生を研究に参加させ、探究する喜びや楽しさに触れさせる機会の設定</li> <li>○ 高校と大学との学びの一貫性（高大の7年間・大学院も含めた9年間）を図った人材の育成</li> <li>○ 産業界を交えた高大の連携の促進</li> </ul>